

2040年には、日本での年間死亡者数は166万人にのぼるという。一方、お隣中国(2019年末で人口14億5万人)では、一人っ子政策の影響からいよいよ超高齢化社会が目前に迫り、人口減を迎える。年間死亡者数は日本の比ではない。多くの死亡者が出る前には、寝たきり者や、障害を負う方が増大することが予測される。医療費、介護費の膨張から予算削減に転じ、夕張市の住民のように死生観が変化し、死に臨む姿勢も大きく変わってくる。

そのため、リハは、その方のQOL(生活の質)を高めるという目標の中に、QOD(死の質)を高める、保障することを包含して進み出した。そのきっかけは、大田仁史氏が1990年代後半に、ハビリス(habilis: ~らしい、適した)の精神から出た人間らしい「死」を具現化するための「終末期リハ」を思想として世に問うたことにある。一方、日本作業療法士協会が1990年前半から終末期作業療法の実現を協会方針に打ち出す契機をつくったのが、今回の執筆者である目良幸子氏である。末期がんの方(ホスピス等)の作業療法の実践と役割について紹介され、以後、多くのOTたちの発表が続く。

本誌では過去、2002年「終末期・死と作業療法」、2012年「緩和ケア病棟で求められるOTの役割と活動」、2015年「最後までその方らしく生きることへの支援」と特集が組まれ、いよいよ看取りの作業療法がきたのである。目良氏が切り開いてくれた終末期作業療法がここまできたのかと感慨を覚える。

その目良氏には、訪問リハでの終末期作業療法を、看取りからエンゼルケアに至るまで詳細に記述していただいた。野尻氏には、看取りを支える作業療法教育について論じていただいた。三木氏は、看取りを支える作業療法哲学からグリーンワークまでを述べられた。福田氏には、療養病床における看取りについて8事例を紹介していただいた。臂氏には、看取りとチームワークについて論じていただいた。とても具体的で、これから、看取り(終末期)にかかわろうとする方には、一歩踏み出す勇気を与えてくれるのではないと思う。

一歩も二歩も踏み出した終末期作業療法、住民は待ち望んでおられると思う。(澤 俊二)

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 西出 康晴 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	石川 隆志	石原 茂和	伊藤 利之
宇田 薫	内山 量史	沖田 啓子	片岡 聡子
鴨下 賢一	川本愛一郎	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	櫻井 卓郎	澤田 辰徳	柴田八衣子
島崎 寛将	関本 充史	高島 千敬	竹中佐江子
田中 栄一	田平 隆行	鶴見 隆彦	豊田 章宏
芳賀 信彦	白鳥 智子	二神 雅一	堀田 聡子
松田 雅弘	松本 琢磨	松元 義彦	三浦 晃
宮崎 宏興	宮本 礼子	村井 千賀	村上 重紀
山根 寛	吉川ひろみ	和田 直樹	渡辺 誠

(五十音順)

作業療法ジャーナル VOL.54 NO.3 (Mar.)

2020年3月15日発行(毎月1回15日発行)

定価(本体2,000円+税)

年ごめ予約購読料 28,000円+税(送料弊社負担、増刊号含む)

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

(担当: 高野, 森山)

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷(株) ☎ 03-3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル ☎ 03-3817-8036

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2020, Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。